

一 次の熟語の読みを（ ）に書きましよう。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ① 執念 | ② 逃避 | ③ 装飾 | ④ 普及 | ⑤ 我慢 |
| ⑥ 華麗 | ⑦ 執筆 | ⑧ 境内 | ⑨ 優雅 | ⑩ 衝動 |
| ⑪ 翻訳 | ⑫ 覚悟 | ⑬ 微妙 | ⑭ 緩和 | ⑮ 岐路 |

二 次の —— をつけた漢字の読みを（ ）に書きましよう。

- | | |
|-----------|--------------|
| ① 霧で視界が遮 | ② 球技大会への参加を募 |
| ③ 会議に臨 | ④ 紛 |
| ⑤ 若者を諭 | ⑥ 無駄を省 |
| ⑦ 多くの人手を費 | ⑧ 時間を無為 |
| ⑨ 大きな荷物を携 | ⑩ 大きな隔 |
- （ ）られる。
（ ）む。
（ ）す。
（ ）やす。
（ ）える。
（ ）たりが存在する。
（ ）る。
（ ）らしい地名。
（ ）く。
（ ）に過ごす。

三 次の熟語の読みを（ ）に書きましよう。

- | | | | | |
|------|-------|------|------|------|
| ① 時雨 | ② 行方 | ③ 果物 | ④ 風邪 | ⑤ 雪崩 |
| ⑥ 名残 | ⑦ 五月雨 | ⑧ 日和 | ⑨ 景色 | ⑩ 砂利 |

四 次の —— のカタカナを漢字で（ ）に書きましよう。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ① 有名な学者の <u>コウエン</u> を聞く。 | ② 友人を自宅に <u>シヨウタイ</u> する。 |
| ③ 自然を注意深く <u>カンサツ</u> する。 | ④ 鳥はそれぞれ食べるものが <u>コト</u> なる。 |
| ⑤ 手厚い <u>カンゴ</u> を受ける。 | ⑥ 桜の花が美しく <u>チル</u> 。 |
| ⑦ 駅の <u>コンザツ</u> にうんざりする。 | ⑧ 患部を <u>キュウソク</u> に冷やす。 |
| ⑨ 絵画の <u>テンランカイ</u> に行く。 | ⑩ 歴史を <u>センモン</u> 的に学習する。 |
| ⑪ 人ごみに <u>マギ</u> れる。 | ⑫ 名所旧跡を <u>オトズ</u> れる。 |

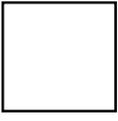
五 次の（ ）に「不」「非」「未」「無」のいずれかを入れ、三字熟語を完成させましよう。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① () 完成 | ② () 常識 | ③ () 成年 |
| ④ () 所属 | ⑤ () 関係 | ⑥ () 可能 |
| ⑦ () 公式 | ⑧ () 自由 | ⑨ () 景気 |

六 次の——部を漢字に直したときの組み合わせの正しいものを記号で答えましょう。

私たちの研究①タイシヨウである「しおまねき」というカニのはさみは左右②タイシヨウではなく、一方のはさみとは③タイシヨウ的に、もう一方のはさみは極めて巨大である。

- ア ①対称・②対照・③対象 イ ①対照・②対象・③対象
ウ ①対象・②対称・③対照 エ ①対象・②対照 ③対称



七 次の()に漢字を入れ、類義語(似た意味)を語群から選びましょう。

- ① 貴重 Ⅱ 大 () ② 損得 Ⅱ 利 () ③ 薄情 Ⅱ 冷 ()
④ 我慢 Ⅱ () 耐 ⑤ 思慮 Ⅱ 思 () ⑥ 方法 Ⅱ 手 ()

《段 切 忍 考 淡 害》

八 次の語句の対義語(反対の意味)を語群から選びましょう。

- ① 守勢 Ⅱ () ② 権利 Ⅱ () ③ 単純 Ⅱ ()
④ 原因 Ⅱ () ⑤ 容易 Ⅱ () ⑥ 消費 Ⅱ ()

《結果 複雑 攻勢 生産 義務 困難》

九 次の各文中の()にあてはまる適切な言葉を選んで記号に○をつけましょう。

- ① 原始林にも()の法則はあって、減じるものは朽ち枯れてなくなってゆく。
ア 突然変異 イ 適者生存 ウ 千変万化 エ 日進月歩
② クチバシの形が違っていると、食べる物が異なり、決して争うことなく()しているという。
ア 相互依存 イ 意気投合 ウ 不和雷同 エ 共存共栄
③ アルプスのような山では雪が積もっていると、山肌の()が増す。
ア 色彩感 イ 生命感 ウ 立体感 エ 孤独感
④ 去年は咲かなかった花を、今年は咲くだろうか()で、その木を眺めている。
ア 自信满满 イ 意気揚々 ウ 興味津々 エ 余裕綽々
⑤ 夜の闇に浮かび上がった薄墨桜の()な美しさに私は息をのんだ。
ア 画一的 イ 幻想的 ウ 現実的 エ 立体的

十 次の語が四字熟語になるように、()にあてはまる言葉を後から選んで書きなさい。

- ① 異口 () ② 以心 () ③ 半信 ()
④ 自画 () ⑤ 危機 () ⑥ 単純 ()

《自賛 伝心 一髪 明快 半疑 同音》

十一 次の各文の《 》内の動詞を（ ）内にあてはまるように活用しましょう。

- ① 廊下は（ ）ないようになしよう。《走る》
- ② （ ）駅を、前もって教えてください。《降りる》
- ③ これから、アンケート用紙を（ ）ます。《集める》
- ④ もっと早く（ ）ばよかったのに。《来る》

十二 次の文で「あわてて」「いるのが」「私」であると思われるように読点（、）をつけましょう。
適切な箇所の記号に○をつけましょう。

- ア
私は — あわてて — 逃げた — 子犬を — 追いかけた。
- イ
私は — あわてて — 逃げた — 子犬を — 追いかけた。
- ウ
私は — あわてて — 逃げた — 子犬を — 追いかけた。
- エ
私は — あわてて — 逃げた — 子犬を — 追いかけた。

十三 次の文の主語と述語をそれぞれ抜き出しましょう。

- ① 私は毎週日曜日に散歩に出かけます。
 - ② ここは私が卒業した学校です。
 - ③ 彼は誠実な態度で人に接する。
 - ④ 明日の朝、兄が帰ってくる。
- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|----|
| ④ | ③ | ② | ① | | |
| | | | | | 主語 |
| | | | | | 述語 |

十四 次の文の——の副詞と呼応する語を下から選んで書きましょう。

- ① たぶん彼女は来る（ ）。
 - ② ここはまるで天国の（ ）。
 - ③ 彼は決して嘘はつか（ ）。
 - ④ ぜひ見に来て（ ）。
- | | | | |
|-----|-----|-----|----|
| | | | ない |
| | | だろう | |
| | ほしい | | |
| ようだ | | | |

十五 次の文章の——の敬語の種類として適切なものをア～ウから記号で答えましょう。

昨日、先生が私の家に①いらっしやうた。母は、「手づくりのクッキー②ですが、③お茶と一緒に、ぜひ④召し上がってください。また先日⑤ご相談いたしました受験に関する⑥お話を、詳しく⑦うかがわせてください。」と先生に⑧申し上げた。私は、隣の部屋で会話を聞きながら、冷や汗をかいていた。

- ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語

- ① () ② () ③ () ④ ()
- ⑤ () ⑥ () ⑦ () ⑧ ()

十六 次の意味にあてはまることわざを、下から選んで記号で答えましょう。

- ① 失敗が偶然良い結果を生むこと。 ()
 - ② 思いがけない幸運にあうこと。 ()
 - ③ 下手なくせに熱心であること。 ()
 - ④ 手ごたえ、やりがいのないこと。 ()
- ア たなからぼた餅
 - イ ぬかにくぎ
 - ウ へたの横好き
 - エ けがの功名

十七 次のことわざが完成するように () にあてはまる言葉を選びましょう。

- ① 犬も歩けば () にあたる。
 - ② 好きこそものの () なれ。
 - ③ 早起きは () の得。
 - ④ ちりも積もれば () となる。
 - ⑤ () をたたいて渡る。
 - ⑥ () 寄ればの文殊の知恵。
- 上手
 - 山
 - 三人
 - 三文
 - 石橋
 - 棒

十八 次の□に身体の一部を示す漢字を書き、慣用句を完成させましょう。またその意味を下から選び記号で答えましょう。

- ① □をあかす。 ()
 - ② □を抱える。 ()
 - ③ □がたたない。 ()
 - ④ □と□の先。 ()
 - ⑤ □をはさむ。 ()
 - ⑥ □が広い。 ()
 - ⑦ □をもつ。 ()
 - ⑧ □をなで下ろす。 ()
-
- ア 知り合いが多いこと
 - イ 味方して応援すること
 - ウ すぐ近くであること
 - エ だしぬいてびっくりさせること
 - オ ほっと安心する様子
 - カ 人の話の途中に何かを話すこと
 - キ どうしたらよいかわからない様子
 - ク とても対抗できないこと

十九 次の故事成語語の意味を後から選んで書きましょう。

- ① 四面楚歌 ()
- ② 圧巻 ()
- ③ 漁夫の利 ()
- ④ 背水の陣 ()
- ⑤ 螢雪の功 ()
- ⑥ 杞憂 ()
- ⑦ 杜撰 ()
- ⑧ 蛇足 ()

- ア 第三者が利益を独占すること
 - ウ 敵の中で孤立してしまうこと
 - オ 決死の覚悟で敵にあたること
 - キ 苦勞して勉強して成功すること
 - イ いいかげんなこと
 - エ 取りこし苦勞
 - カ 余計なもの
 - ク 最もすぐれた部分

問一 ①そうの指す部分を、文中から一文で書き抜きなさい。

問二 ②ろくに努力をすくても、いつもクラスの中心的存在になる子とあるが、この子は誰のことか答えましょう。

問三 ③早く終わらないかなあ・・・とあるが、何が早く終わってほしいのか。本文中より三文字を抜き出して答えましょう。

問四 ④よりによって、に込められている気持ちとして適切なものを選び希望に○をつけましょう。

- ア 少しは救いがあるとはっとする気持ち
- イ なんとか乗り切ろうという前向きな気持ち
- ウ 状況が最悪だと嘆く気持ち
- エ 打開策を必死で探そうとする気持ち

問五 ⑤そんな自分に、ますますいやげがさしてしまふ・・・とあるが、どんなことをする自分にいやげがさすのか。それを表現している一文を抜き出しましょう。



二十二 次の俳句について後の問に答えましょう。

A いくたびも雪の深さを尋ねけり 正岡子規
(病床にある自分には外の雪を見ることができない。どのくらい積もったのか家人に何度も雪の様子を尋ねるのである。)

B おりとりてはらりとおもきすすきかな 飯田蛇笏
(ふと道端ですすきを折ってみると、軽そうだと思っていたのにはらりと手にしっかりとした重みを持っていたことだ)

C 分け入っても分け入っても青い山 種田山頭火
(迷いながらどこまでも奥深く分け入ったが、どこまで行っても青い山ばかりだ)

問一 A・Bの俳句の季語と季節を答えましょう。

A	季語		
B	季語		
	季節		
	季節		

問二 A・Bの俳句からそれぞれ切れ字を書き抜きましょう。

A

B

問三 Aの句で、病床の作者の「雪を見られないもどかしさ」が最も現れた言葉を俳句の中から書き抜きましょう。

()

問四 Bの句で、作者がなにげなく手に取ったものは何ですか。俳句の中から書き抜きましょう。

()

問五 Bの句で、手に取ったものの存在の重さに気づいたことを表現している擬態語を書き抜きましょう。

擬態語・・・動作や様子を表す言葉

()

問六 Cのように定型や季語にとられない俳句のことを何といいますか。漢字五文字で答えましょう。
